

2024年度

S 3

小 論 文

2月25日(日) 人文社会科学部 (言語文化学科) 10:30~11:30
【前期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(1枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、1ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(1枚(表裏))を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあける。
- ・改行したら、最初の一マスをあける。
- ・句読点は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」などはそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。(配点100%)

著作権の関係上、
公表しません。

レベッカ・ソルニット著、東辻賢治郎訳『ウォークス 歩くことの精神史』(左右社)より

問 「巡礼は偶像崇拜である」という批判がなされた場合、それについてどのような反論が可能か、本文の内容を踏まえながら反論を試みなさい。具体例を挙げてもよい。(600字以内)

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文（前期日程試験：令和6年度）	問題番号	S3
対象学部・学科（課程）等	人文社会科学部（言語文化学科）		
出題のねらい	<p>宗教文化における聖地巡礼についての解釈について触れた課題文を理解できているか、またその課題文を踏まえて、今日興隆している聖地巡礼文化の意義や役割について、自らの気づきや考えを的確に表現できるかを問うことをねらいとしている。</p>		
採点基準	<p>配点 100%（100点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題文の内容を理解した上で、設問に沿った形で論述できているか。 ・課題文を踏まえて、自らの考えを的確に論述することができているか。 ・何気ない言葉の持つ奥深さに気づいているか。 ・日本語表現の巧拙。 ・論理の整合性はあるか。 ・誤字脱字はないか。 		